

海の道むなかた館

辺津宮の向かいにある海の道むなかた館では、宗像大社の歴史と世界遺産としての現状を展示しています。沖ノ島は一般の立ち入りが禁止されていますが、数か国語での3D映画や、周囲を取り囲むスクリーンは、聖なる島への仮想現実での訪問を可能にし、沖ノ島の役割とそこで発見されたものを私たちが理解する手助けをしてくれます。日本語と英語での展示は、来館者に宗像大社を構成する3つの神社と、沖ノ島で行われた儀式の概要を分かり易く説明しています。

他には、宗像で発掘された品々や地域の古墳について展示し、宗像市の歴史や、日本とアジア大陸を結ぶ航路を紹介しています。沖ノ島で奉獻品として使用されていた勾玉（コンマの形をしたビーズ）などを来館者が手作りして試みることができる工作教室など、子ども向けの活動が定期的に行われています。エントランスホールの奥には軽食やドリンクを楽しめるカフェがあり、お土産や宗像大社の歴史に関する書籍もあります。館内の図書館には、宗像の歴史や文化や地域の風景などの書籍が収蔵されています。自転車のレンタルや無料のロッカーを利用できます。